



後藤英鵬 書 (県三)

第41号

発行 県立富士宮北高等学校同窓会 北嶺会
静岡県富士宮市宮北町230 (北高内) 電話 (0544) 27-2533 (代)

編集 北嶺会広報委員会
印刷 (株)きうちいんさつ

さて、三年前の一五号台風で母校の「さくら・もみじ・檜」が大きな被害に会い、中央並木道に「そめいよしの」の若木を創立七十五周年として補植いたしました。その若木が今年には花をつけ四月七日には満開の中を二四〇名の新生が入学し、二月二十八日には同窓会入会式が行われ二三名の卒業生が入会いたしました。

環境面ではPTAと北嶺会で毎年八月第三日曜日に行う清掃作業を十月と三月の三回行い、八月には四百メートルグラウンドのトラックコースに覆いかぶさっていた椎の木を落し十月には抜根した跡にクローバーの種を蒔き、排水溝の土砂を取り除き不要になった用具を処分。さらに三月二

本年度の北嶺会定時総会は五月二十五日(日)富士宮市内のパテオンで開催いたします。総会幹事は昭和五十二年卒業を主に五十三年と五十四年の卒業生が従となり三学年が務めることになりました。多くの会員の皆様のご参加をお待ちいたしております。

でした。望月校長より県は「空調設備は対象外」で他校はPTAと同窓会で設置をしたとの報告があり現在検討に入りました。



ご挨拶

北嶺会会長 西川恒彦

五年を経て母校のおかれたひばりヶ丘の状況が大きく変わった報告をいたしました。今年環境問題だけではなく入学試験の応募者が定員をわずかにオーバーしただけで昨年とは大きく変わりました。その原因は「北高には冷暖房設備がない」こと

望月軍四郎先生の墓参には十五名のご参加を頂き、本年度は五月三十一日(土)に墓参と東北嶺会総会に出席の予定です。来る五月二十五日の総会には多くの会員のご臨席を頂きたくお願いしご挨拶いたします。



望月軍四郎之像 昭和28年4月建立

2014 北嶺会総会 ご案内

- と き：平成26年5月25日(日)
- 1. 総会：午後2時～(受付開始1時～)
- 2. 懇談会：午後3時～(シャンソン歌手MIMIライブ・抽選会等)
- ところ：クリスタルホール・パテオン
- 会 費：男性 5,000円 女性 3,000円

夢の続き

昭和三十年 吉野 富士男

夢が正夢になりつつあります。平成二十四年の新春に地方紙へ投稿した(こんな夢をみたい)が実現の進行形になっています。筆者としてこんなに嬉しい事はありません。これも偏に優秀なる後輩にも恵まれ励まされた結果の賜です。

在学中は心が少々曲っていたので二・三の科目のテストを拒否して答案用紙へ氏名だけ記入し退席を繰返して教員室へ数度



夢の原点
「相馬御風記念館」有志訪問
平成二十五年九月八日

呼びつけられました。そんな折一人の教師から説教を受けました。「なあ吉野よお前は良寛を知っているだろう。あの良寛和尚の愛弟子とも云える相馬御風が作った立派な校歌を持った学校の生徒だからもう少し真面目に生きなさい」と何度も何度も静かに諭された。能力の半分も発起することなく卒業して其の後も期待してくれた多くの恩師を裏切りました。少年老い易く学成り難しあつと云う間の六十年頭に霜をもらいました。でも心の隅に雲雀ヶ丘で生まれたものが残っていました。オリオンは直に並び輝いていきます。曲っていても北斗七星も同様に輝いている事に気付きました。

郷里大宮の町の西北へ本校の建設を企画したものと推察します。広い敷地の中にあつた三種の樹木に長年考えさせられました。樹木に長年考えさせられました。銀杏は赤門のある大学のシンボルの木より高い学力を指す。桜は丘が出来上がった時に桜ヶ丘となり学舎のある処の代名詞。そして篠懸(プラタナス)は業を修めることわり。そのような造成中の原野状の敷地に立って御風先生は北に芙蓉の嶺を南に浅間の宮。遠くに駿河の海を望み上げ雲雀の声を聞いて歌詞を創造したのではないのでしょうか。そうだ皆んなで大声で校歌を歌い全国に発信しよう。そしてメジャーな高校へのデビューを夢見よう。

夢は……
「相馬御風の作詞した校歌を持つ高校の全国サミット」

ご利用下さい！
ホームページ＆フェイスブック

北嶺会・同窓会ホームページ
hokureikai.jp



HOKUREI Facebook

ホームページの強化とフェイスブックを始めました！！
同窓生の皆様、ホームページとフェイスブックを通し同窓会の輪と絆を深め同窓生全員で母校を応援していきたいと思っております。
皆様の近況報告や、同窓会開催の告知、同窓生の活躍の様子など、節度ある範囲で、活用いただけましたら幸いです。
同窓生同志でシェアして戴くと輪が広がりつながりができると思います。
いいねボタンも、押してくださいね！！
※(過度な宣伝等は、削除させて戴くことがあります)

北嶺会入会式

二月二十八日、二三一名の卒業生が北嶺会に入会しました。入会式では生徒代表が挨拶、式のあと原田輝道氏（昭和五十三年度卒）により、「人生、確かな信念を持って生きて生きてゆこう」と題する記念講演が行われました。

生徒代表挨拶

Takahashi
Rengifo Martin



会長と生徒代表

降り注ぐ日差しは日ごとに温かくなり、旅立ちと別れの季節を迎えています。

三年前、北高の門をくぐり、中央道の桜の美しさに感動したあの日が、昨日のように思い出されます。皆で楽しむことができた北嶺祭や応援委員として北高を盛り上げた日々、バスケットボールを追い続けた部活動など、仲間と共に一つのことになった時間は、かけがえのない宝物です。

私たち二三名それぞれが、有意義な高校生活を送ることができましたのも、ひとえに先生方の御指導と同窓会の皆様方の数々の御支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、今の社会に目を向けると、昨年の富士山の世界遺産登録、現在交渉中のTPP問題など、身近なところにも国際化の大きな波が押し寄せています。多様化する社会に、柔軟に対応する力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

I have a dream that one day I'll be employed by a trading company and contribute toward the economics of the world.

I pledge myself to make my best efforts to keep brushing up my multilingual ability.

本日御臨席の諸先輩のように、自分の夢を実現するために、誠実に堅実に努力することをお誓いするとともに、今後もご指導を賜りますようお願い申し上げます。入会の挨拶といたします。

記念講演

人生確かな宗教をもって生きてゆこう



講師の原田輝道氏

の記念講演となりました。テーマは『人生、確かな宗教を持って生きていこう』と、人生の新たな道に進む卒業生にとって大変有意義なお話でした。

原田氏は、講話の中で大切な一つの言葉を卒業生に送りました。『心の師とはなることも心を師とせざれ』——それは、自分が、自分の心を司る師匠となるのは良いけれども、自分の我がままな心を師匠としてはならないという事であり、自分の欲望のままに生きれば失敗する、反対に欲望を見つめ、それを良い思いへと転じていくことが大切だという意味だと話された。

又、『これからの人生では、様々な問題が起きてくる。その問題に対して、貴方自身がどのような信念をもって、どの様に対処していくかという事が大事。それには、自分の心を映す鏡を持つ必要があり、それが確かな宗教と信仰をもって生きるという事です』と話が続けられました。



した。

講演の最後のまとめとして、『人生の主体は常に自分自身にありますから、先ずは貴方が、貴方の心を映す鏡をもって下さい。何度もう言うようですが、それは、貴方が確かな宗教と信仰を持って、貴方自身の心を照らすこと。仏様の目から見た尊い貴方自身の人生を積み上げていくことです。そして、本当の良い人生を歩み、是非とも、これからの素晴らしい日本を作っていくって下さい。

何故なら、実際に貴方の心が変われば、貴方の生きる態度が変わります。生きる態度が変われば、習慣的な行動が変わります。習慣的な行動が変われば、貴方のその人格も変わるので、すると必ず周囲の人間関係も変わる。そして、自分も周囲も変われば、環境社会が変わり、果てには日本全体が変わって行くのです。

最後になりますが、先程の「心の師とはなるとも心を師とせざれ」という言葉を、是非とも座右に飾っていただきたいと思ひます。』と話され、講演を終りました。

平成二十五年度

北嶺会総会・懇親会

平成二十五年度五月二十六日(日)、北嶺会総会と懇親会が、クリスタルホール・パテオンを会場に開催されました。当番幹事(昭和五十一年度卒)の尽力により、大勢の同窓生、恩師の出席のもと盛大に行われました。

総会



会場風景



校長あいさつ



会長あいさつ



受付風景

懇親会



24年度会計報告

収入の部

入会金	3,008,000
会費	12,000
雑収入	391,701
繰越金	2,925,665
合計	6,337,366

支出の部

事業費	1,277,960
運営費	913,225
管理費	102,213
収支剰余金	3,723,968
積立金	300,000
その他	20,000
合計	6,337,366



アトラクション



「北嶺会平成改革プロジェクト」

プロジェクトメンバー募集

(集おう) 富士宮北高同窓生・育もう我が母校

我が母校北高も七十有余年の歴史を刻み伝統ある学校として今なお存在しております。しかしながら、時代の流れは早く、超少子高齢化時代になり急速な社会変化の中で公立高校にとっては大変厳しい社会環境にさらされています。北高も例外ではありません。

北嶺会としても、どのような形で母校を盛り上げ育む事が出来るか、大きな課題が課せられています。現在の北嶺会は、善意ある諸先輩方の多大なるご尽力のお蔭で、支えられているのが現状です。同窓生二万人を有する北嶺会ですが、一部の方々だけでは、これからの活動も厳しい時代が来る事が予測されます。

より多くの同窓生皆様方が参加協力をして頂き、皆様方の英知で我が母校を支え育む事を可能であれば、必ずや百年の歴史を刻む伝統の学び舎になると思います。

そこで、北嶺会をより多くの同窓生皆様方が参加協力頂けるような、同窓生の集う場にして行く為に今回「北嶺会平成改革プロジェクトチーム」起ち上げを計画いたしました。

(活動内容)

- ・現状の把握(総会の在り方・生涯会員等会費について・その他活動内容等)
- ・今後の活動方針、規約改正等

(募集要項)

- ・北嶺会会員ならだれでも(特に二十歳代〜五十歳代の方の参加お願い)
- ・月一回位の打合せに参加いただける方(北嶺会役員会会議に準じて予定一時間位)
- ・費用は無し
- ・希望の方の連絡先(今村まで)

(e-mail) k.inamura@mst.biglobe.ne.jp
(携帯) 〇九〇一〇九〇一〇〇〇八

・発起人メンバー

- 渡邊一敏 (S五十二年卒) 有賀正治 (S五十四年卒)
- 今村一徳 (S五十二年卒) 後藤修一 (S五十九年卒)
- 牧野利一 (S五十三年卒)

第四十回 親睦会・墓参のお誘い



代表世話人 須藤 哲志

関東北嶺会に、いつもご支援いただき誠にありがとうございます。

最近の都心は、オリンピック関連の工事がいたる所で始まりました。

また、二月には二週連続で予想もしない大雪で、生活や交通マヒがあり大きな混乱もありましたが如何お過ごしですか。

さて、皆様、本年も恒例の親睦会及び創立者・望月軍四郎先生の青山墓地参拝を、風薫る五月三十一日(土曜)に本部と合同で行うことになりました。是非、この機会に初めての方もお気軽にご参加ください。

「人生、次へのステップ・人生の二次会」と青春を思い出し更なる楽しみが増します。めまぐるしく変わる社会、こんなときこそ関東北嶺会に結集

えます。

全国第二位の敷地面積の北高も社会を反映し会員諸氏の在校当時より大きく激減し、現在、生徒数は七〇〇余名(十八組)となっております。

最大の平成元年の一三五〇名から半減しました。

私が卒業した三十五年頃と様変わりし、四割が大学に、三割が専門学校に、就職は三割です。当時は進学できるのは一割弱で、これも社会の流れの変化かも知れません。

体育・文化後援会の会費納入支援のお願い

体育・文化後援会 理事長 吉野 豊

北嶺の学び舎に、本年も次代を担う有能さを秘めた新入生を満開の桜が門出を祝福するかの如く、入学に花を添えてくれました。すでに、生徒達はそれぞれ体育・文化部に入部決定され、躍動感に満ち溢れた若さを緊張感を持って各分野で、エネルギーにスタートさせました。

各部活の責任教師の先生方には、一年間ご苦勞をお掛け致しますがご指導をよろしく願うものです。又、望月校長から特に委嘱された本校卒業生OBコーチ諸兄には(硬式野球部四名・庭球部二名・陸上競技部一名・柔道部一名・バトミントン部一名)先生方と方針・考えを共有して、人生の先輩としても良き相談相手となり、共に汗を流し育成に当たって頂きたいです。日々、感謝。

特に、勝負事は「勝つ」喜びを全員で味わい、また、文化部関連では人の和の尊さをもご指導願って、伝統ある本校の名声を全国へ向けて発信、精進されん事を期待します。さて、当会の設立趣旨は、北嶺会の目的を具現化させる為に会員及びPTAにより構成され人間形成を特に重視しながら、多角度からの支援活動を展開しています。

さらなる本校の部活動の活躍を期待し、今までの資材援助を考え、創立者 望月軍四郎先生の「国家有能な人材育成」の建学の理念を体育・文化を通して二十一世紀を担う後輩達に引き継ぐ為にも会費納入のご支援を伏してお願ひ申し上げます。

北嶺会員のご尊台各位には、本会の趣旨をご理解頂き、是非とも左記、預金口座にお振込み下さいますようお願い申し上げます。

- ◆口座名義 富士宮北高等学校 体育文化後援会
- ◆ゆうちょ銀行 口座番号 00820-9-49040
- ◆富士宮信用金庫 北支店 普通預金 口座番号 1052483
- ◆富士信用金庫 富士宮支店 普通預金 口座番号 199856

個人年会費…103千円
法人年会費…101万円以上
上の御協力をお願い致します。

この機会に、青山墓地墓参に行きませんか。(自由参加)

今ある自分に感謝をこめ一度は如何ですか。

当日、ご都合等で墓参出来ない方は直接会場でお会いしましょう。名簿等の不備で案内状をお送り出来ない場合があります。ご面倒ですがお気軽に幹事長まで、お問合せください。

詳しい資料をお送り致します。
遠藤幹事長携帯電話
〇九〇一―九九八一五〇四七

●創立者望月軍四郎翁の墓参

・日時 五月三十一日(土曜)
午前十時十五分(雨天決行)

・集合場所 青山墓地管理事前

●親睦会と年次報告

・開会 同日午前十一時三十分

・会場 ホテルゆうぽうと六階

・場所 品川区五反田八十四

・電話 〇三三四九四六三三九

・最寄駅 JR五反田駅西口徒歩五分

・会費 六三〇〇円(男)
五八〇〇円(女)

体育・文化後援会

一年を振り返って

平成二十五年度

後期生徒会長

永田 妃香

私にとってこの一年は、大きな起点であり自らが成長することのできた一年間だったと思います。

二年生の初め、クラスが進路で別れ、私は理系クラスとなりました。元々理系科目がそこまです得意ではなかったのですが、しっかりやっていけるか不安でしたが、先生・友達がわからないところを教えてください、協力してくれました。文化祭・体育祭では、クラス全員で創り上げていく協力的・達成感を学びました。

そして、生徒会では生徒会長という大役につき、上に立ち物事を進める大変さ、生徒会長という立場は、他の役員がいなくては成り立たないものなのだと感じる事ができました。

私は仲間や先輩方、先生、たくさんの人達に支えられ、ここまで充実した一年を送ることが

できたのだと感謝しています。

三年では、最上級生として後輩を引っ張っていかねければならない立場となります。北嶺祭なども、私達が創り上げて行くと思うと、大丈夫なのか、しっかりまとめたいけるのかと思うと正直なところ不安に思うところは沢山あります。しかし、仲間と支えあい個性を生かした新たな北嶺祭を創り上げたいと思います。そして、三年生ではこれからの人生を決める受験があります。北高は、就職、大学、専門学校進学と一人一人が違った道に進んでいきます。進路希望が様々である分、周りからい刺激を受け取り、進路実現に向かって日々、努力していききたいです。



校訓碑 (明朗・信念・覇気)

同級会

元気で頑張る

二十五年卒業

川島 明

よく、関東北嶺会の、特に昭和二十五年卒の結束ぶりが話題になって居るが、当事者の我々にしてみれば別に特筆する事は無い。現在、卒業時に商業科一組・二組の同期で、関東在住の同期は十五人おり、順番で関東の役員が回って来た時に土橋君を会長に推薦して活動を始めたが、その時の合言葉が「土橋に恥をかかせるな」で、一人一人に呼びかけ出来るだけ集まる機会を作り、商業科以外にも機械科・化学科や、途中で他校に転校した同期にも呼びかけて懐かしかった当時を振り返りながら参加者をまとめ、更に、個人的にもメンバーをまとめて、年に二回程度の国内旅行を行い、北は北海道から南は九州・沖縄まで仲良く旅を楽しみながらその結束を深め、その手段の一つとして「ふれあい通信」と言う手作りミニコミ誌を自費発行した処、関東の先輩や後輩から富士・富士宮の同期、更に

これも郷里の先輩・後輩からも「俺達にも読ませて欲しい」と言われ、最初は関東の仲間宛ての十五部だったのが、今では毎号五十部を超えるまでになり、発行も年に四回だったのが、今では二か月に一回に増え、平成三年八月に「蛍雪だより」としてスタートしてから現在此の三月で二十三年間も続け、五十四号を数える。人には「物好きだね」と言われるが「一杯飲んだと思えば安いもんだ」と自分のボケ防止も兼ねて勉強の積りで内容のまとめに没頭の毎日である。これも尊敬する亡くなられた遠藤茂樹先生の「物事はその代償を求めず『精出せば、凍る間も無しみずぐるま』のたとえで、黙ってコツコツと動く水車がある小川の水は凍らないと同じで、良い事はずっとコツコツと実行するの



だ。まさに継続は力なりだ」と学校を巡らす土手に寝そべって語られた事を思い出したからで、以来人の為では無く自分の為に続け、今では投稿をしてくれる仲間も増え、みんなで作るみんなの情報誌になりつつあり、自然と結束が深まっている。そして、最初は関東の同期だけの集まりも、故郷の同期にも呼びかけて、少なくとも年に一度は親睦を深めようと昨春秋は山梨の石和温泉に在郷は六人、関東は八人が集い、楽しいひとときを過ごした。そして、今年八月の富士宮の夏祭りに集おうとの事で、久しぶりに故郷を満喫したいと楽しみにしている。が、お互いに傘寿を過ぎて、一人、また一人と旅立つ仲間も出て来るが、当時教えられた「商工精神」を思い越し、みんなの手を取り合って生き抜きたいものである。その為には楽しくなくては：と名称も人気のAKB48を真似て「富士宮北高同窓会昭和25年度卒」から「FKD25」と勝手につけて新聞で紹介されるなど、残り少ない人生を楽しみたいと思います。

北高だより



校長 望月 近美

平成二十五年度を通して、北嶺会関係者の皆様には他方面に渡りお世話になりました。

着任後一年が経過し、北高を運営する上で、北嶺会の御支援の大きさを実感しております。樹木が豊富な環境を維持するためにも、長いスパンでの観察と計画性が不可欠であり、短周期で異動する本校職員の方では到底実現できません。八月・三月の樹木剪定、グラウンド南への植栽やクローバーの種まきなどは、北嶺会の視点と駆動力によってこそ実現できたものと感謝を申し上げます。

平成二十六年度は去る四月七日、二四〇名の新入生(男子二五名、女子二二五名)を迎えてスタートしました。希望を胸に校門をくぐり、憧れの北高生に接して決意を新たにしたいことでしょう。

本年度は、規律と生産性のあ

る生活をベースに、主体的な学習を促し、社会に求められる人間力の育成を目指します。また、組織的にていねいな指導によって個々の進路の実現を支援します。生徒には、部活動などで活気に満ちた学校生活を送る一方で、社会的事象や自分自身についてじっくりと考える思考力も持ち合わせて欲しいと願っています。そのためには、できるだけ多くの体験や社会に目を向ける機会を設けていきたいと考えています。しっかりとした目的意識をもった上で、高い進学・就職希望を掲げ、充実した文武両道の生活に打ち込んで欲しいと願っています。

また、本年度及び次年度、県の学校防災推進協力校として、災害への対応力を高めて参ります。

北嶺会の皆様には、本年度も御支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



平成二十五年度 進学状況報告

【大学等への進学】

4年制大学には国公立大学に6名、私立大学に83名、短期大学には公立に2名、私立に15名が進学しました。近年、AOや推薦入試による合格者の割合が増加していますが、自己への挑戦を避けて安易に推薦入試に流れてしまうのではなく、高い目標を掲げて努力をしてほしいと

思います。今年は例年に比してセンター試験に挑戦した生徒が多く、国立大学に前期日程で合格した者、得意科目を活かして私大のセンター利用入試に合格できた者など、最後まで自分の志望校を諦めない攻めの姿勢の大切さを後輩に示してくれました。低学年時から具体的な目標を設定し、日々の授業を大切に

して努力を重ねれば、自ずと道は開けてくるものです。また受験先を決める際には浅薄な世評に頼るのではなく、卒業後の進

路を見据えての十分な進路研究が必要です。

【専門学校への進学】

長引く経済不況を反映し、専門学校への進学者が増加しています。とりわけ資格取得の実績のある学校、就職実績の高い学校を選択する傾向が顕著になっています。本校では看護、医療系の学校を志望する生徒が多いのですが、相変わらず人気が高く狭き門です。

主な進学先

● 国公立大学 6名

静岡大学(2名)・山梨大学・信州大学・茨城大学・静岡県立大学

● 私立大学 83名

日本大学・東洋大学・亜細亜大学・神奈川大学・名古屋商科大学・東京農業大学・日本歯科大学・桜美林大学・東京経済大学・神奈川工科大学・昭和女子大学・関東学院大学・中部大学・山梨学院大学・常葉大学・東海大学・順天堂大学・日本福祉大学・静岡英和学院大学・関西外国語大学 他

● 短期大学 15名

静岡県立大学短期大学部・東海大学短期大学部・常葉大学短期大学部・静岡英和学院大学短期大学部・日本大学短期大学部・大妻女子短期大学 他

● 専門学校等 63名

富士市立看護専門学校・J A静岡厚生連するが看護専門学校・静岡医療センター附属静岡看護学校・富士リハビリテーション専門学校・静岡デザイン専門学校・沼津情報ビジネス専門学校・大原法律公務員専門学校・横浜ビューティーアート専門学校・横浜fカレッジ・日本工学院専門学校・東京スクールオブビジネス・東京モード学園

平成二十五年度

就職状況報告

平成二十五年度は、製造業を中心に景気の拡大がみられ、本校も昨年に比べ一・五倍まで求人数の大幅な回復がありました。就職を希望する生徒にとっては、就職しやすい環境になりましたが、企業もより良い人材を確保するために選考試験には依然厳しいものがありました。そのような中で求人数は増えても、就職試験の厳しさを生徒一人ひとりが自覚し、高い目標を持ち続け、日々勉学・部活動等継続して努力を積み重ねてきました。また、資格取得にも良く努力し独自の付加価値を身につけることができた結果、今年度も、就職を希望した生徒全員が内定をいただき、無事荒波を乗り越えることができました。これも、多くの方々にご指導をいただいたお陰であると心より感謝とお礼を申し上げます。

● 内定者の科別内訳

商業科	男子	26名	女子	17名
	合計	43名		
普通科	男子	8名	女子	9名
	合計	17名		

● 主な就職先

テルモ・JR東海・富士宮信用金庫・富士信用金庫・高田薬局・日本プラスト・トヨタ自動車・富士セラミックス・アサヒ飲料・アイエイアイ・ニッピコラーゲン工業・ジャトコ・パーパス・ホテイフーズ・休暇村富士・サンカプセル・プライムベーカーリー・明星産商・イハラケミカル工業・社会福祉法人 鑑石園・医療法人社団 顕正会・医療法人財団 百葉の会・医療法人社団 エーアールティエス・医療法人社団 神谷歯科クリニック・南富士カントリー倶楽部・玉吉製作所・カナエ工業・トウネツ・すみ企画・富士地区学校生活協同組合・日本紙管・東都観光バス・南部町役場・静岡県警察・陸上自衛隊 等

故木内久仁彦様

長年に渡り広報委員として「北嶺会だより」「七〇周年記念誌」の発刊に、共に携わってこられました副会長木内久仁彦様が、昨年五月ご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

特に、記念誌作りに際しての資料収集などに関して、静岡新聞社、図書館、学校等と奔走した日々の事が思い出されます。百周年を踏まえて活動されました木内さん、有り難うございました。

広報委員長 市川 合 掌
緑

部活動報告



全商協会表彰に輝く

県立富士宮北高等学校の3年生19人が本年度までに、全国商業高等学校協会主催の検定試験で3種目以上の1級合格を果たし、同協会表彰の荣誉に輝いた。19人は同校商業科に在籍する3年生71人の4分の1以上に当たる数で、過去最多の22人を数えた昨年度に続く好成绩となった。

岳南朝日新聞・平成二十六年二月二〇日掲載される

男子ソフトテニス部



県2位
佐野 真孝
石川 真也

県3位
稲葉 大輝
佐野 颯亮

全国総体出場



東海2位
高橋 義貴

陸上競技部◆棒高跳

東海総体出場

〈団体〉



男子ソフトテニス部

〈個人〉
平野 裕大
芹澤 一樹



広報委員

市川 栄一 渡辺 緑
市川 栄一 渡辺 緑
市川 栄一 渡辺 緑

山田 充宏 高野 秀次 石川 昌之 佐野 正之 今村 一徳 松井 博之 田邊 元裕 佐野 明宣

国民体育大会 出場

男子ソフトテニス部
佐野 真孝

陸上競技部 棒高跳
高橋 義貴



相撲部

〈団体〉
赤澤 主馬
望月 康輔
赤池 虎太郎

陸上競技部◆棒高跳



磯野 光平